# ■ちーびし

## ○執筆者紹介

①生年・出身地，②所属，③専門領域，④研究業績，⑤奄美と関係した活動
の順番で掲載しております。

### ■高津　孝（たかつ　たかし）

① 1958年・大阪府
② 法文学部人文学科日本アジア総合文化講座教授
③ 中国文学，中国書誌学，博物学
④ 共編『増補琉球関係漢籍目録』鹿児島大学法文学部，平成17年３月。共編『知のポリフォニー』松柏社，平成15年８月。
論文「鎖国を越えた博物学調査－薩摩の本草学－」（『コミュニケーションのかたち－ことば・もの・メディアー』新しい関係性を求めて－コミュニケーションの諸相－報告書No.５），平成16年３月
⑤ 平成15年度鹿児島大学大学院人文社会科学研究科公開講座（名瀬市）講師

### ■西　啓一郎（にし　けいいちろう）

① 1957年・鹿児島県
② 法文学部法政策学科政策科学講座助教授
（平成17年４月から，鹿児島県総務部広報課長補佐）
③ 自治体政策論
④ 『住民自治と小さな自治システム』鹿児島大学法学論集第38巻，2004年
『自治体の協働政策に関する一考察』鹿児島大学法学論集第39巻第２号，2005年。
『島嶼部における環境ガバナンスー廃家電の収集運搬費用軽減に向けた取組みー』奄美ニューズレターNo.５，2004年。
⑤ 鹿児島大学人文社会科学研究科名瀬市サテライト教室講師，2004年度

### ■山本　一哉（やまもと　かずや）

① 1966年・鹿児島
② 法文学部経済情報学科国際協力講座助教授
③ 国際経済論，アジア経済論
④ 「韓国における銀行再編」鹿児島県地方自治研究所『自治研かごしま』（No.78，2003．８）。「沖縄・奄美群島の物流と自立化」『島嶼地帯の県境を越えた市町村合併に関する総合調査－奄美群島を事例にして（平成15年度文部科学省科学研究補助金／基礎研究（B）（2）／研究代表者：山田誠）』（2004年３月）

### ■平井　一臣（ひらい　かずおみ）

① 1958年・宮崎県
② 法文学部経済情報学科地域計画講座教授
③ 政治史，地域政治論
④ 『「地域ファシズム」の歴史像』法律文化社，2000年。『地域から問う国家・社会・世界』（共編著）ナカニシヤ出版，2000年。『実践の政治学』（共編著）法律文化社，2003年
⑤ 本プロジェクト事務局長

### ■采女　博文（うねめ　ひろふみ）

① 1952年・鹿児島
② 法科大学院教授
③ 民法学
④ 「いじめ裁判と安全配慮義務・報告義務」鹿大法学論集39巻１号，2005年。「入会権の全員一致原則の機能」鹿大法学論集38巻１・２号，2004年
⑤ 本プロジェクト事務局

## ○編集後記

■　表紙の写真は，奄美大島の瀬戸内町古仁屋に行った際の写真です。

左の写真は古仁屋小学校の裏にある高千穂神社でみつけたキノボリトカゲです。このトカゲは，普段は緑色をしていますが，外敵から身を守る時は，木の色と同じ色に変わる特徴を持っています。

真ん中の写真は，瀬戸内町手安（てあん）にて，スコールが降ってきた際，一匹の蝶が花に止まって雨宿りをしているところを撮りました。蝶にとっては花が心のよりどころとなっているように見え，奄美の自然を身近に感じました。

右の写真は，加計呂麻島近くの磯に瀬渡しで行き，その時釣ったベラの一種です。南国らしい鮮やかな色をしています。残念ながらこの魚は料理して食べることはないのですが，中には味噌汁の具として食べることができる魚もあり，奄美特有の味でとてもおいしいです。

このように，奄美大島は，風景だけでなく，そこに存在する生き物に触れ，見たり，食べたりすることもひとつの楽しみではないでしょうか。

（竹村剛，大学院人文社会科学研究科地域政策科学専攻）

■　新年度がはじまりました。大学院人文社会科学研究科地域政策科学専攻（博士後期課程）には，７名の入学生が加わりました。学生数31名の小さな専攻ではありますが，３年目ということで学生・教員ともに非常に張り切っております。

当専攻のホームページ（URL：http://www.leh.kagoshima-u.ac.jp/doctor/）では，２月19日に開催した「第２回プロジェクト研究報告会」の様子を「プロジェクト」のページにて紹介しています。ぜひご覧ください。

（今徳）

研究責任者　山田　誠
奄美ニューズレター
発行　鹿児島大学

編集責任者　萩野　誠
AMAMI News Letter
発行日　2005年４月22日